

.....

今朝ほど青森県を中心に発生した地震、ならびに西日本を中心に各地で大雨が続いている状況により、影響を受けられている皆様に心よりお見舞い申し上げます。今後、余震や雨の激化など予断を許さない状況が続くかと存じますが、各地で対応にあたられている皆様の安全を心よりお祈りいたします。なお、本メールは予定通り配信させていただきます。落ち着かれましたらご一読いただきますと幸いです。

.....

『1』 はじめに

.....

◆ 「チーム」で挑む下水道の課題解決

現在開催中の FIFA ワールドカップ北中米大会、各国代表の戦いに関心が集まっています。グループ F の第 2 戦（日本対チュニジア）は日曜昼ということもあり、観戦された方も多いのではないのでしょうか。私もまったくの「にわか」ながら、つまみを傍らに自宅でじっくりと観戦しました。主力選手にけが人が続く苦しい状況下でも、代わってピッチに立った選手たちがチームとして機能し、役割を全うする戦いぶりは、私たち下水道事業のあり方にも通じるものがあると感じます。

下水道事業においても、施設の老朽化、職員数の減少、脱炭素化や資源エネルギー利用等といった様々な課題があるなか、着実な対応が求められています。JS 技術開発室では、それらに応えられる新たな技術の開発や各種調査等を通して、課題解決に寄与したいと考えていますが、これらは JS のみで実現できるものではありません。新技術の開発およびその実装においては、国や自治体のニーズを的確に捉え、JS 独自の調査とともに民間企業等との共同研究を実施し、優れた技術は積極的に地方公共団体に活用頂いたうえで、それを評価し新たな開発につなげていく。こうした「技術の善循環」には、産官学の協調が不可欠です。また、JS が関与する維持管理の現場においても、維持管理業者、地方公共団体、そして JS が連携し、知見を共有して初めて課題解決が実現します。こうした「チーム」による実践の積み重ねこそが、日本の下水道事業を活性化していくものと考えます。

次戦のスウェーデン戦は 6 月 26 日（金）の朝 8 時キックオフです。仕事の関係でリアルタイム観戦が叶わない方も多いと思いますが、日本代表の活躍を期待しつつ、それぞれの現場で一日をスタートさせたいと思います。選手たちが日々成果を出していくように、私たち下水道事業に携わる者も、それぞれの立場で技術力を磨き、連携の質を高め、未来のインフラを支える「チームとしての力」を共に高めていきましょう。

それでは、今月の技術開発情報メールをお届けします。

（技術開発室長 兼 総括主任研究員 三宅 晴男）

『2』 下水道よもやま話

◆ ヤギが教えてくれる？ 脱炭素

令和 8 年 4 月にソリューション推進部長に着任いたしました神宮誠です。どうぞよろしくお願いいたします。ソリューション推進部は、水の官民連携導入や下水道経営戦略策定の支援などを担う部署です。また、数は多くありませんが維持管理業務も受託しており、当部はその本社統括部署でもあります。現在、処理場の維持管理業務としては、静岡県磐田市の磐南浄化センター（平成 27 年 4 月～）や、栃木県真岡市の水処理センター・二宮水処理センター（令和 6 年 6 月～）を受託しています。磐南浄化センターを訪れると、少し意外な風景が目に入ります・・・

▼続きは WEB ページよりご覧ください↓

<https://www.jswa.go.jp/tech/archives/jswaAC/pdf/1202401468.pdf>

（ソリューション推進部長 神宮 誠）

『3』 新技術のご紹介

◆ JS 新技術の紹介・検索サイト「ニーズに応える新技術」をご活用ください！

JS では、省エネ化や創エネ化、温室効果ガス排出量抑制による脱炭素化の実現、広域化・共同化の促進、下水道バイオマス資源の利活用の推進、下水道事業の持続性向上など、下水道事業が抱える様々なニーズや課題に対して、最適なソリューションの提案を目指し、新技術の開発、受託事業における積極的な導入を推進しています。

当サイトでは、地方公共団体の皆さまが抱えておられるニーズや課題から、JS がご提案するソリューション技術をお探しいただけるよう、各種技術の概要や導入効果、導入事例などをまとめています。皆さまの技術導入検討や課題解決の一助としてご活用ください。

なお、JS では、優れた新技術を受託建設事業に積極的に導入し、「技術の善循環」を円滑に実施するため、平成 23 年度から「新技術導入制度」を運用しています。本制度は、JS が開発に関与した新技術のみならず、民間企業等が独自に開発した技術についても、JS が実施への適用性を確認した上で、受託建設事業へ積極的に導入を図るものです。新技術が確かな評価の元、安心して採用いただけるように本制度の適切な運用に取り組んでいます。

▼新技術紹介サイト「ニーズに応える新技術」

<https://www.jswa.go.jp/new-technology/>

▼JS 技術カタログ一覧

<https://www.jswa.go.jp/new-technology/catalog/>

▼「新技術導入制度」について

<https://www.jswa.go.jp/tech/newTech.html>

（ソリューション推進部 ソリューション企画課）

■.....
『4』 研修センターからのお知らせ
.....

- ◆ 戸田対面集合研修（第2四半期開催分）の応募可能なコースのお知らせ
【まだ間に合います！】

第2四半期開催分（7～9月）の研修について、定員に若干余裕がある研修の追加募集を実施しております。お申込みをお待ちしております。

▼追加募集中の研修一覧

https://www.jswa.go.jp/tech/archives/documents/202606/kensyu_oshirase.pdf

-
◆ 「下水道技術検定・下水道管理技術認定試験」の申込を受付中です
【お申込みをお待ちしております！】

令和8年度の下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験について、ホームページに受験案内を掲載しました。お申込みをお待ちしております。

受験申込み期間：令和8年6月15日（月）から7月31日（金）まで
試験実施日：令和7年11月8日（日）

▼ホームページ

<https://www.jswa.go.jp/kentei/>

（研修センター）

■.....
『5』 真岡分室からのお知らせ
.....

技術開発室真岡分室の山本です。今年度も引き続き、真岡分室長として、真岡市の2処理場の維持管理、技術開発業務を行っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今号では、ソリューション推進部長の神宮より、JSでは真岡市と磐田市の下水処理場の維持管理業務を受託している旨の紹介がありました。紹介のとおり、磐南浄化センターでは、ヤギを使った除草やサツマイモの水耕栽培など、ユニークな取り組みが積極的に行われています。では、真岡市の2処理場ではどうなのか？ということ・・・

▼続きはWEBページよりご覧ください↓

https://www.jswa.go.jp/tech/archives/documents/202606/mooka_oshirase.pdf

・真岡市内の夏まつりについて

<https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/shokokanko/event/12403.html>

・ 真岡市観光協会

<https://www.moka-kankou.org/>

(技術開発室 真岡分室)

.....

◆このメルマガは、登録された国及び地方公共団体等の皆様へ配信しています。

◇メルマガへの感想・お気づきの点等ございましたら [mailto: gikai@jswa.go.jp](mailto:gikai@jswa.go.jp) へ

**

◎JS 技術関連資料アーカイブズへはこちらから↓

<https://www.jswa.go.jp/tech/archives/jswaAC/>

メルマガバックナンバーもご覧になれます

◎日本下水道事業団ホームページ <https://www.jswa.go.jp>

**

J S 技術開発情報メール

発行：J S 技術開発室

◆Copyright (C) 2026 日本下水道事業団